

## シンポジウム 31

## 抗菌薬適正使用支援チームの薬剤師が知っておくべき抗感染症薬の基礎と実践的使い方

2019 年 11 月 3 日 (日) 15:35-17:35 第 1 会場 | 福岡サンパレス 2F 大ホール

オーガナイザー：松元 一明 (慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座)  
オーガナイザー：西 圭史 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部・感染対策室)  
座長：松元 一明 (慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座)  
座長：西 圭史 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部・感染対策室)

## オーガナイザーの言葉

2016 年に厚生労働省から発表された「薬剤耐性対策アクションプラン」では、2020 年までに薬剤耐性菌を減らすことを目的に、注射用抗菌薬や経口抗菌薬の使用量削減に関する目標が示された。2017 年には 8 学会合同で「抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス」が発表され、薬剤師は医師と並び、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) のリーダー的存在として期待されている。しかし、これまで様々な AST 活動が報告されているが、アクションプランの目標には未だ到達しておらず、残り 2 年で達成できるかどうか疑問である。そこで聴講者それぞれの施設における今後の AST 活動の中で薬剤師が職能を発揮し、アクションプランの目標に少しでも近づくことができるように、本シンポジウムでは、初心者でも分かるように抗菌スペクトルや基本的な使い方から臨床でよく遭遇する耐性菌の MRSA 感染症、ESBL 産生菌感染症、CDI 感染症の治療に関する最新の情報について講演を行う。

## 3-01-S31-1

## 抗菌スペクトルとアンチバイオグラム

浦上 宗治<sup>1</sup>

1: 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部

本邦の抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンスでは感染症・感染制御の専門性を有する薬剤師は医師と並んで抗菌薬適正使用支援チーム (antimicrobial stewardship team: AST) の中心となるべき職種の一つとして位置づけられている。薬剤師の人数が限られている病院では感染症を専門としない薬剤師や経験の浅い薬剤師が AST を担当することがあるため、今回は AST 活動に必要な知識について言及する。抗菌薬選択を行う上で抗菌スペクトルの習得とアンチバイオグラムの利用は中心的な要素であり、AST 薬剤師のマストである。

## ■ 抗菌スペクトルの習得

薬剤師は薬理学の専門家であり、AST の中で最も抗菌スペクトルを正確に理解している存在であるべきである。βラクタム系抗菌薬には数多くの成分があり、あらゆる臓器に移行性を有することから臨床において最も使用する機会が多い系統である。まず βラクタム系の抗菌スペクトルをマスターすることを第一歩とすべきである。各抗菌薬の抗菌活性は細菌を内因性に耐性が少ない順に並べることで規則性のある抗菌スペクトルとして理解することができる (当日は簡便な整理法を示す)。また、抗菌スペクトルは耐性ではない感性菌に対する抗菌スペクトルをマスターし、次のステップとして耐性菌に対するスペクトルを理解するのが実践的である。

## ■ アンチバイオグラムの利用

正確な抗菌スペクトルに基づいた抗菌薬を投与しても原因菌を殺滅できるとは限らない。「効くはずが効かない」、それが耐性である。耐性の有無は薬剤感受性試験が判明するまでわからない。したがって、初期抗菌薬は耐性菌の検出頻度を勘案しながら確率論的思考で選択することが重要である。確率論的に許容できるのであれば、必ずしも初期抗菌薬が広域抗菌薬である必要はない。耐性菌の検出率を表で示したものがアンチバイオグラムであり、確率を論ずる根拠となるものである。耐性菌の頻度は病院や地域、国ごとに異なる。そのためアンチバイオグラムは病院ごと、さらには診療科や病棟ごとのように患者背景により合致したものが入手出来れば、より精度の高い耐性菌検出頻度で抗菌薬選択を行うことが可能になる。

本講演ではこれから AST 活動をはじめめる薬剤師に“必要最小限の知識”を習得していただける様、解説する。

## 略歴

【学歴】

2003 年 3 月 明治薬科大学薬学部薬剤学科卒業

2019 年 3 月 佐賀大学大学院医学系研究科医科学専攻博士課程修了

【職歴】

2003 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日 津山中央病院 薬剤部

2010 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日 佐賀県立病院好生館 薬剤部 主任

2013 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 病院助教（感染制御部専従の薬剤師として）